

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	スリル	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.570	△RG	0.015	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：THRILL

フレアーの幅  インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離  インチ

4-1/2 インチ

研磨剤

テストボール：HYDRA

フレアーの幅  インチ

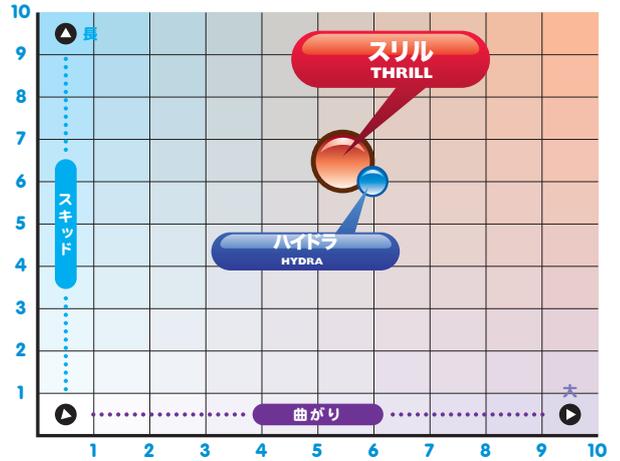
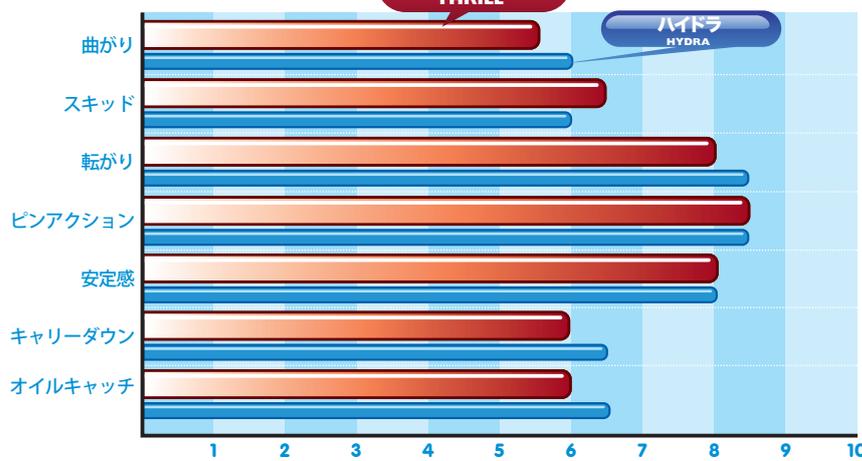
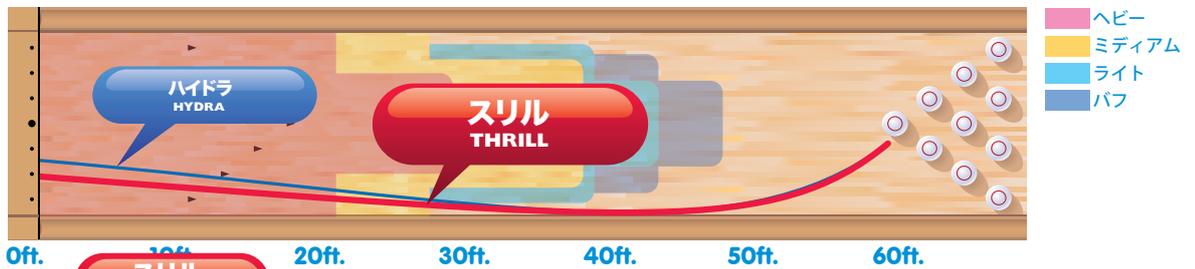
表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離  インチ

4-1/2 インチ

研磨剤



### ボールの評価

MOTIV社のボールと聞けば、日本でもJACKALやREVOLTのようなメディアムから上のスペックがポピュラーでしょう。やはりそれは日本のボウラーがどのようなボウルが好みかというよりは、それらのボールが有効活用しやすいコンディションもさることながら、必要なタイプのボウラーが多いことを示していると思います。

このTHRILLはMOTIV社で最もオイルが少ない時に使用するライト用に設定されたボールで、初お目見えのFlux Coreはボールの反応を遅らせ、オイルの少ないコンディションで必要なスキッドの長さを出すためにより高いRGを持っています。それはまたトラックフレアを最小にしてレーンの後半に運動を制御させるために非常に低い△RGを持たせています。Agility XPカバーストックはFlux Coreの運動特性を十二分に活かすために優れたカバーストックで、苦も無くスキッドを出せるためドライレーンに最適です。またMOTIV社で最も光沢のある5500Grit LSP仕上げということも見逃せません。

テストングでは他のボールで反応してしまうラインでも苦も無くスキッド感がでて、さらにドライゾーンを求めてライン変更を余儀なくされる場面もありました。このような性能領域だと、回転力のあるボウラーやスピードに課題のある女性ボウラーには扱いやすさを感じるのではないかと思います。ボールの曲がりが大きくは要らないが、特にポケットまで運びやすいボウラーには重宝します。最近ではオイルの増加に伴い、オイルに強いボールが主に発売されています。

それは見方を変えればオイルが少なれば曲がり過ぎる傾向も生み出しています。当然オイルに強ければ強いほどボールにオイルを吸着させる傾向は強まり、さらに急激な摩擦力も生み出します。であるならばドライになる傾向を想定し、ボールを用意しておかなければならないでしょう。その状況でTHRILLは本領を発揮します。

### 特記事項

**ドライなコンディションで圧倒的なパフォーマンスを発揮します。**  
**回転数が多い方やスピードに課題がある方はTHRILLは有効活用できるでしょう。**